

肝門部領域胆管癌における剥離面陽性例の臨床的検討に関する情報公開

1. 研究の対象

2001年1月1日～2014年12月31日の間に肝門部領域胆管癌の手術をうけた方

2. 研究目的・方法・研究期間

名古屋大学医学部附属病院腫瘍外科では、年間約50例の肝門部領域胆管癌の手術を行っております。手術で癌をすべて取りきることが術後再発を抑えるために重要であることはわかっています。これまで切除した胆管の断端に癌の遺残がある方について検討する研究は多くされていますが、剥離面に癌の遺残がある方について検討する研究はこれまでありません。

今回、剥離面に癌の遺残のあることが生命予後にどれほど影響を与えるかを検討します。研究期間は倫理委員会承認日から2018年9月19日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術での剥離面に癌の遺残を認めた方の臨床情報（手術所見、生存期間、生死、画像所見、病理組織所見等）を参照させていただきます。

研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野

研究責任者 椰野 正人

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2217

FAX 052-744-2230